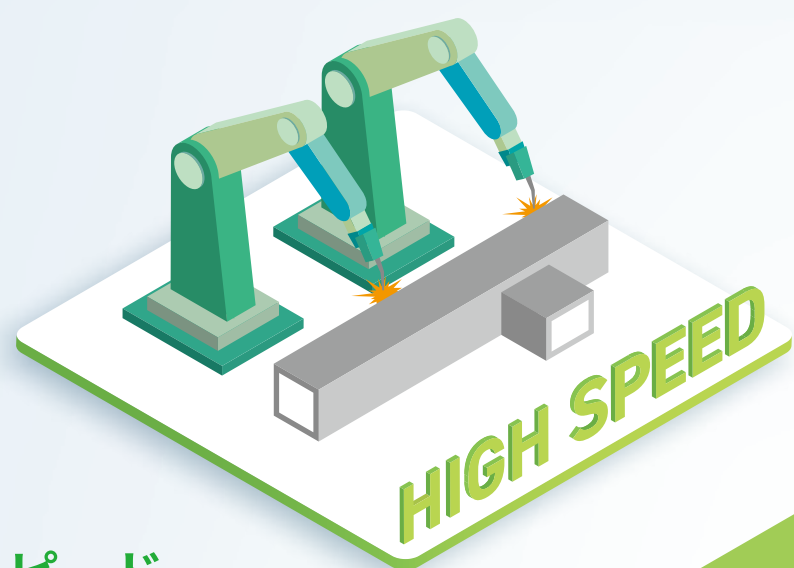


データセンターの工業化へ。 スピードを最大のサービスに。



ハイスピード

鉄骨は自社グループの工場で生産。設計・申請・施工のリードタイム短縮も図り、高圧受電を想定することで、土地選定から短期間で提供が可能となります。

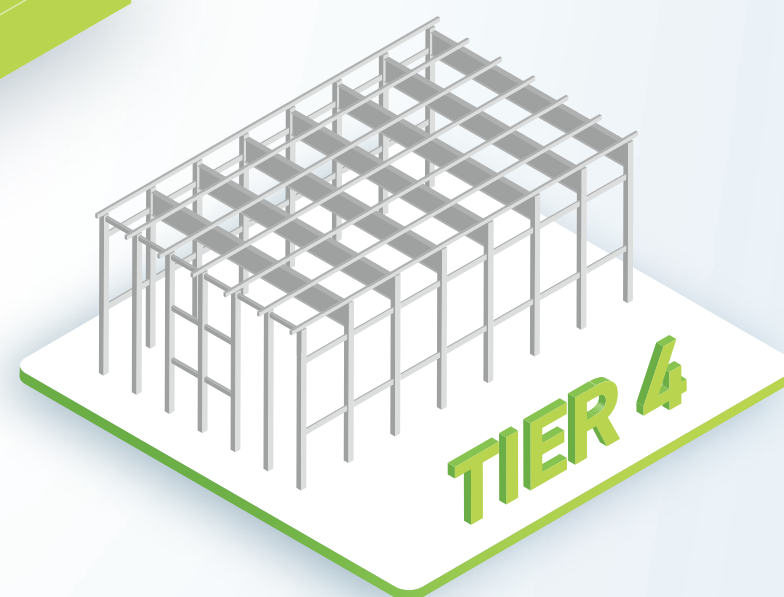
ミドルキャパシティ

コンテナ型と建屋型の間領域の収容力。電気設備や空調などの必要設備をオールインワンパッケージで提供します。



ハイクオリティ

JDCCが定めるティア4レベルに準拠した構造躯体で建物を構築。高価な資産となるサーバ機器を自然災害から守ります。



短期間でオールインワンパッケージの データセンターを全国へ。

大和ハウスは、1955年に「パイプハウス」を開発。

「建築の工業化」の礎を築きました。

以来、世の中の役に立つものをつくりだすことを使命とし、

住宅づくりやまちづくりに取り組んできました。

そんな私たちが次に着手するのは「データセンターの工業化」です。

AI技術の発展により、大量のデータを高速に処理するニーズが増加。

高度なデータセンターが広く求められています。

こうした社会情勢を受け、

モジュール型データセンター「Module DPDC」を開発しました。

土地選定から施工まで一気通貫でおこない、短納期を実現。

優れた耐震性や堅牢性を大きな強みとし、

ますます進化するAIの最適化に対応してまいります。

未来に向けて前進しつづける私たちに、どうぞご期待ください。

 **Module
DPDC**

詳しい内容は
こちらから

